

「さんべ冬ステージ」

1 趣 旨

- ・主体的に社会参画を目指す青年に対し、将来のリーダーとして不可欠な、リーダーシップを身につける場として、体験を通じた学びの場を提供する。
- ・リーダーシップをキーワードに、企画・運営の様々な場面で合意形成・問題解決を繰り返し、対人関係力等リーダーとして必要な資質の向上を図る。

2 事業の概要

- (1) 期 日
- ①企画編 1 平成 30 年 1 1 月 2 日 (金) ～ 1 1 月 4 日 (日) 【2泊3日】
 - ②企画編 2 平成 30 年 1 2 月 1 日 (土) ～ 1 2 月 2 日 (日) 【1泊2日】
 - ③試行編 平成 30 年 1 2 月 1 5 日 (土) ～ 1 2 月 1 6 日 (日) 【1泊2日】
 - ④準備編 平成 31 年 1 月 1 1 日 (金) ～ 1 月 1 3 日 (日) 【2泊3日】
 - ⑤本番編 平成 31 年 1 月 1 8 日 (金) ～ 1 月 2 0 日 (日) 【2泊3日】

(2) ボランティア参加者

- ①企画編 1 17名 ※募集20名
- ②企画編 2 22名 ※募集20名
- ③試行編 21名 ※募集20名
- ④準備編 21名 ※募集20名
- ⑤本番編 19名 ※募集20名

- (3) 【⑤本番編】 自主企画事業「ホッとギュッとさんべでワクワク 温パレード～見つけよう！
家族のキラキラ輝く姿～」(以下:「温パレード」) 参加者なし ※募集15家族60名程度

- (4) 講 師 くにびき自然学校 代表 佐藤 しのぶ 氏 (①企画編 1 のみ)

(5) 主な研修内容

【①企画編 1】

1 日目	○アイスブレイク
2 日目	○講義・演習 (ブレン・ストーミング, 企画づくりの基礎講座, 企画を立ててみよう)
3 日目	○講義・演習 (企画を立ててみよう, 私たちの考えた企画はどうだろう) ○クロージング

【②企画編 2～③試行編】

1 日目	○オープニング「ねらいの共有」 ○企画についての話し合い・試行
2 日目	○企画の話し合い・試行 ○クロージング

【④準備編】

1 日目	○オープニング「ねらいの共有」 ○企画の準備
2 日目	○企画の準備
3 日目	○企画の準備 ○クロージング

【⑤本番編】

1 日目	○オープニング ○企画運営の準備
2 日目	○企画の運営準備 ○自主企画①②③ ○振り返り
3 日目	○企画の運営準備 ○自主企画④ ○クロージング

(6) 「温パレード」の日程

	10:30	11:00	12:00	13:30	14:00～	17:10	18:45～	19:30	20:30	22:30
一 日 目	入所・受付	アイスブレイク 始まりの会 ①	昼食・休憩	企画① 「キャンドル職人に 弟子入りだ！」 ～キャンドルづくり～	企画② 「三瓶に出たぞ キラキラ輝く スノーマン！」 ～雪像づくり～	夕べのつどい 夕食・休憩	企画③ 「キラキラナイト」 キャンドルに 願いを込めて ～キャンドルに 火を灯そう～	レクリエーション	自由時間 入浴	就寝

	6:30	7:00	7:40	8:40	9:00～	12:00	13:00	14:00
二日目	起床	朝のつどい	朝食	退所点検	企画④ 「盗まれた願いを取り返せ！」 怪盗 Sim からの挑戦状 ～オリエンテーリング～	昼食・休憩	帰りの会	解散

3 事業の内容

(1) 事業の特色

本事業は、第5回目の「本番編」に行う自主企画事業の企画から運営に至るまでの全てを参加者である当所の法人ボランティア（以下：さんボラ）が行うものであり、自分たちで主体的に活動を進めていく。企画・運営における様々な場面で合意形成・問題解決を繰り返すことで、対人関係力等リーダーとして必要な資質の向上を図ることをねらいとしている。

(2) プログラムデザインと企画のポイント

本事業は、全5回の構成としている。「①企画編1」では、講師による講義・演習で、参加者同士のつながりや思いを共有し、企画づくりの基礎を理解しながら企画を立て、企画の検証を行う中で、事業の方向性を定めることができるようにする。「②企画編2」では、企画について話し合う中で、企画の内容、事業の日程を固めるとともに、広報の方法やチラシの作成を通して、広報活動について考えることができるようにする。「③試行編」では、考えたプログラムの試行を通して、リスクマネジメントの理解や対応について考え、内容の改善・検討を行う。「④準備編」では、本番での運営者側（さんボラ）と自主企画事業の参加者（以下：「温パレード」参加者）の動きを再確認し、「温パレード」参加者をイメージしながら本番に向けての準備を行う。そして、「⑤本番編」では、実際に事業運営を行う。

今回、さんボラが前向き（ポジティブ）な気持ちで参加できるように、「向上志向評価」（画像1）を活用して、企画・運営への関わりや他の、三瓶青少年交流の家でボランティア活動をするための成果について見つけ、振り返られるようにしている。

平成30年度 国立三瓶青少年交流の家 教育事業
さんボラステージ

【向上志向評価】

	本来の自分	今の自分
⑤本番編	・企画の自分自身で進めたい。 ・準備している。進めたい。 ・企画の進め方について話し合っている。 ・企画の進め方について話し合っている。	・企画を進めたい。進めたい。 ・準備している。進めたい。 ・企画の進め方について話し合っている。 ・企画の進め方について話し合っている。
④準備編	・企画について話し合う。 ・企画の進め方について話し合っている。 ・企画の進め方について話し合っている。	・企画を進めたい。進めたい。 ・準備している。進めたい。 ・企画の進め方について話し合っている。 ・企画の進め方について話し合っている。
③試行編	・企画の進め方について話し合っている。 ・企画の進め方について話し合っている。 ・企画の進め方について話し合っている。	・企画を進めたい。進めたい。 ・準備している。進めたい。 ・企画の進め方について話し合っている。 ・企画の進め方について話し合っている。
②企画編2	・企画の進め方について話し合っている。 ・企画の進め方について話し合っている。 ・企画の進め方について話し合っている。	・企画を進めたい。進めたい。 ・準備している。進めたい。 ・企画の進め方について話し合っている。 ・企画の進め方について話し合っている。
①	・自分の意見や考えを自分の言葉でしっかりと相手に伝える。 ・企画を立てる際のポイントを学ぶ。 ・他の参加者の人とも積極的に関わる。	・企画を立てる際のノウハウを学べた。 ・目的、目標を設定することの意義。 ・アクティビティの難易度を考慮すること。

画像1：向上志向評価

4 事業の実際

(1) 事業の実施について

さんボラは、募集20名に対して、毎回20名前後の参加者があった。島根大学教育学部以外からは、島根県立大学出雲キャンパス2名、鳥取環境大学1名の計3名の参加があり、大学間の交流を図ることができた。5回通しての参加が10名、4回の参加が7名で、事業期間を通して意欲的な参加があった。また、大半が1年生ながらも、2・3年生からも参加があり、下級生に対して自らの経験を活かした助言や補助で、企画・運営を支えてくれた。

「①企画編1」では、くにびき自然学校代表佐藤しのぶ氏を講師として、企画を立てる際のポイントについて学んだ。その際、人間関係づくりのアクティビティを通して、お互いのことを知るとともに、気付いたり、考えたりした経験から、企画につながるポイントを取り出していった。そして、グループごとに事業の目的、メインターゲットや内容について設定し発表することで、事業の構想を持つことができた。



画像2：募集がなかった分析

「②企画編2～③試行編」では、本番をイメージしながら全員で企画を考えた。メインターゲットを「父との距離がある、小学校中学年の女の子（小学校3・4年生をイメージしているが、どの学年でも参加できる）」と設定し、プログラムの内容を詰めていった。同時に、チラシの作成、チラシの配布場所等の広報手段を検討した。また、リスクの洗い出しと対応について考え、安全への配慮を行った。

「④準備編」の開催に際し、募集をかけていた「温パレード」参加者の応募がなかったという事態が生じた。そこで、今後の運営について協議し、参加対象者を「さんボラ」に切り替え、自身が運営をしながら、企画を楽しむことに方向転換するとともに、募集がなかった原因についての分析(画像2)を行った。「どのような活動をするのか参加者が分からない。」「メインターゲットの設定とニーズにずれがある。」「タイトルから、活動の内容をイメージできるようにする。」「チラシに問題があるのではないか。」等、様々な意見を出し合い、企画の立て方、また、広報手段について、検証を行った。

「⑤本番編」では、互いに担当するプログラムと参加者に分かれ、イベントを体験した。これまで研修を積み重ねて、気心知れた仲間である。自然と会場は和やかで盛り上がるが、参加者がいればどんな状況になるであろうかを考えながら、イベントを進めていった。

(2) アンケート結果

①事業の実施内容 (1 不満 2 やや不満 3 やや満足 4 満足) (人)

項目	①企画編1				②企画編2				③試行編				④準備編				⑤本番編			
	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
①事業全体	0	0	0	17	0	0	2	20	0	0	4	16	0	0	3	18	0	0	5	14
②プログラム	0	0	0	17	0	0	3	19	0	0	3	17	0	0	4	17	0	0	3	16
③運営	0	0	1	16	0	0	1	21	0	0	2	18	0	0	2	19	0	0	1	18
④指導・助言	0	0	2	15	0	0	1	21	0	0	1	19	0	0	2	19	0	0	1	18

②これからの生活や活動に対しての、行動・態度・気持ち

(1 まったくあてはまらない 2 あまりあてはまらない 3 ややあてはまる 4 非常にあてはまる) (人)

【②企画編2】	1	2	3	4
①打ち合わせや活動などは休まず参加する。	0	0	7	14
②二つ以上のアイデアがあるときは、自分が中心になって全体を調整してまとめる。	1	10	9	1
③今までやったことのないことでも、新しく始めることに抵抗がない。	0	2	11	8
④決まった自分の分担は進んで取り組むことができる。	0	2	7	12
⑤積極的に参加しないメンバーに参加を呼びかけることができる。	0	9	9	3
⑥初めて会った人が話しかけにくくても、勇気を出して話しかける。	0	3	10	8
⑦自分の担当以外のことにも積極的に関わる。	0	2	12	7
⑧自分のグループ以外の仕事も、サポートすることができる。	0	4	10	7
⑨自分の担当する作業は、最後まできっちりやり遂げる。	0	0	11	10
⑩リーダーとメンバーの役割を理解したうえで、自分の役割をこなすことができる。	0	1	10	10
⑪目標達成のために他の人に説明や協力依頼ができる。	0	5	8	8
⑫作業で気分が乗らないときでも、欠席したりせずに頑張って取り組む。	0	1	9	11

【③試行編】	1	2	3	4
①打ち合わせや活動などは休まず参加する。	0	0	8	12
②二つ以上のアイデアがあるときは、自分が中心になって全体を調整してまとめる。	0	3	16	1
③今までやったことのないことでも、新しく始めることに抵抗がない。	0	4	5	11
④決まった自分の分担は進んで取り組むことができる。	0	1	14	10
⑤積極的に参加しないメンバーに参加を呼びかけることができる。	0	7	11	3
⑥初めて会った人が話しかけにくくても、勇気を出して話しかける。	0	4	9	7
⑦自分の担当以外のことにも積極的に関わる。	0	6	8	6
⑧自分のグループ以外の仕事も、サポートすることができる。	0	5	7	8
⑨自分の担当する作業は、最後まできっちりやり遂げる。	0	0	8	12
⑩リーダーとメンバーの役割を理解したうえで、自分の役割をこなすことができる。	0	2	10	8
⑪目標達成のために他の人に説明や協力依頼ができる。	0	2	5	13
⑫作業で気分が乗らないときでも、欠席したりせずに頑張って取り組む。	1	0	9	10

【④準備編】	1	2	3	4
①打ち合わせや活動などは休まず参加する。	0	0	10	11
②二つ以上のアイデアがあるときは、自分が中心になって全体を調整してまとめる。	0	6	11	4
③今までやったことのないことでも、新しく始めることに抵抗がない。	0	3	11	8
④決まった自分の分担は進んで取り組むことができる。	0	2	8	11
⑤積極的に参加しないメンバーに参加を呼びかけることができる。	0	8	11	2
⑥初めて会った人が話しかけにくくても、勇気を出して話しかける。	0	3	9	9
⑦自分の担当以外のことにも積極的に関わる。	0	3	14	4
⑧自分のグループ以外の仕事も、サポートすることができる。	0	1	15	5
⑨自分の担当する作業は、最後まできっちりやり遂げる。	0	0	10	11
⑩リーダーとメンバーの役割を理解したうえで、自分の役割をこなすことができる。	0	2	9	10
⑪目標達成のために他の人に説明や協力依頼ができる。	0	1	11	9
⑫作業で気分が乗らないときでも、欠席したりせずに頑張って取り組む。	0	3	6	12

【⑤本番編】	1	2	3	4
①打ち合わせや活動などは休まず参加する。	0	0	11	8
②二つ以上のアイデアがあるときは、自分が中心になって全体を調整してまとめる。	0	0	11	5
③今までやったことのないことでも、新しく始めることに抵抗がない。	0	0	9	9
④決まった自分の分担は進んで取り組むことができる。	0	0	9	9
⑤積極的に参加しないメンバーに参加を呼びかけることができる。	0	1	8	7
⑥初めて会った人が話しかけにくくても、勇気を出して話しかける。	0	0	13	5
⑦自分の担当以外のことにも積極的に関わる。	0	0	11	6
⑧自分のグループ以外の仕事も、サポートすることができる。	0	0	11	6
⑨自分の担当する作業は、最後まできっちりやり遂げる。	0	0	8	10
⑩リーダーとメンバーの役割を理解したうえで、自分の役割をこなすことができる。	0	0	10	7
⑪目標達成のために他の人に説明や協力依頼ができる。	0	0	10	8
⑫作業で気分が乗らないときでも、欠席したりせずに頑張って取り組む。	0	0	8	11

③アンケートの記述

- ・【①企画編1】目的の中に目標があり、具体的な活動を考えるだけでなく、評価基準まで考え込むことで、より多面的な企画を作ることができると分かった。次回の課題としては、企画を作る上での“想い”の部分をもより明確にもてるようにしたい。知識と経験を得ることができただけでなく、ともに活動する仲間とも深く交流することができ、より発言しやすい環境ができたと思う。
- ・【②企画編2】人数が多い中での進行は、すごく難しかった。人が多い中でいかに共通理解を図るのか、合意形成を目指すのか、ということがどれほど重要なのかを再認識することができた。リーダーという立場上、進行の良し悪しを考えてしまうが、自分の進行というよりも、皆の様子を見て、議論がどのあたりに落ち着くかということを考えてほうが良いと思った。見通しを持って進めることは大切だが、それにとらわれて、自分がすぐにまとめたりすることがあまり良くないと思った。
- ・【③試行編】今回は、リスクマネジメントなどを考えながら試行し、具体的な企画書を作り、今まで見えてこなかった新たな課題が見つかりました。前回までのところで良いアイデアがたくさん浮かんでいても、実際にやってみると、リスクが多くあったり、ストーリー性がなくなってしまうたりと、行詰まるが多々ありました。実際に試行をする際は、学生としての視点ではなく、常にターゲットを意識して活動することが大切だと改めて実感しました。
- ・【④準備編】今回は、残念ながら冬ステの参加者がいなかったため、対象者を自分達へと切り替えて活動を行って行きました。最初は、一生懸命練ってきた企画ができないことを知り、モチベーションが下がっていました。しかし、みんなで原因を考え、この状況をどう前向きなものに変えていくのか話し合い、再度企画をつめていく中で、少しずつモチベーションも上がり、本番編に向けてのイメージをもつことができました。
- ・【⑤本番編】今回は、冬ステ本番編ということで、実際に企画を行って行きました。前回の企画からターゲットが自分たちが変わり、自分たちが楽しむための企画の内容を再度考え、実施しました。実際に行うことで、「ここはこうしたら良かった。」というところが見えてきました。それは、今回の冬ステに参加したからこそ気付けたことだと思し、良い経験だったと思います。
- ・【⑤本番編】今回は、子どもがいなくて大学生だけの活動となってしまったけど、全体的に楽しんで

活動ができたので、自分たちが楽しめる活動を作れたという点では、良かったと思った。しかし、振り返ってみると準備不足であったり、想定通りいかなかったりしたこともあった。大学生だけなので、何とかあったけど、実際に家族が来るとなると細部の詰めの甘さが表れたと思うので、次回以降の課題になると感じた。

- ・【⑤本番編】 今回の冬ステージに参加して本当によかったと思います。自分自身未熟なところだけだけど、自分なりにすごく成長できたと思います。最初はなかなか積極的になれず、発表などもできなかったけど、企画長をすることで、発表も増え、意見を共有したり、まとめたりして人前で話せたことは、成長につながったと思います。
- ・【⑤本番編】 5回の活動を通して、すごく成長できたと思いました。交友関係の広がり、話し合いでの空気や流れのうまうまかなさ、逆にうまくいった時のうれしさ、企画の難しさ、新たに知る友達的一面など、様々な体験を通して、多様な学びを得ることができました。

5 成果と課題

《成果》

- ・「①企画編1」では、講師の佐藤しのぶ氏が、アクティビティを体験しながら事業の目的や目標、メインターゲット、プログラムの内容等の企画を立てる際のポイントについて、理解につなげる構成としたことで、さんボラは、具体的なイメージをもって学びや気づきを得ることができた。また、仲間づくりの観点からも、交流を深める機会となり、冬ステージ全体を通して、話し合いや、意思疎通、共通理解等、良好な人間関係を保ちながら、事業を運営することができた。
- ・「向上志向評価」により、さんボラが、常に前向き（ポジティブ）な気持ちで事業に参加することができた。複数の考えが出たときには、安易に多数決で決めるのではなく、各自の考えの良いところを尊重しながら、さらにより良い方向性を導き出すことにつなげていた。また、「温パレード」参加者が集まらないという事態においても、自分たちが楽しめるイベントになるように、事業の方向性を軌道修正し、本番を迎えることができた。
- ・アンケートより、事業が進むにつれて肯定的な評価が高まっていることが分かる。20名程が集まり、合意形成・問題解決を図っていくので、話し合いの場面では、困難が伴う。しかし、目的・目標を常に意識しながら話し合いを続ける中で、対人関係力等リーダーとしての資質が備わっていくと考える。

《課題》

- ・今回の1番の課題は、「本番編」における自主企画事業の参加者が集まらなかったことである。本所の親子向けイベントは、「歩くスキー」「クリスマス」「ミニ四駆」等、活動内容がはっきりしているものに人気が集まる傾向にある。また、幼児や小学校低学年の子どものいる家族の参加が多い。チラシによる広報で、活動内容が伝わりにくく、小学校3・4年生をイメージしていることを表記したことが、参加者が集まらない要因の一つになったと考える。さらに、さんべ冬ステージの日程や交流の家から示す与件についても調整や柔軟性を果たせなければならない。チラシ配布が冬休み直前になり、募集締切りまでの期間が短く、親子向けのイベントという縛りがあった。大学や学生の負担を考慮しながら、冬ステージの日程を決定し、子どもだけを対象としたイベントの実施も含めて検討する必要がある。



「①企画編1」講師佐藤氏による講義・演習



「②企画編2」全員で企画の検討



「⑤本番編」イベントを自分たちで運営し楽しむ



(担当：企画指導専門職 田邊 治生)